平成29年度　第４回松田町総合教育会議　会議録

１　開会及び閉会に関する事項

　（1） 開催日時　平成29年６月30日（金）午後2時

　（2） 場　　所　松田町役場１階Ａ会議室

　（3） 開会時間　午後２時00分

　（4） 閉会時間　午後４時30分

２　構成員の出席者及び欠席者の氏名

　（1） 出席者　松田町長　本山博幸

　　　　　　　　松田町教育委員会

　　　　　　　　教育長　𠮷田保夫　教育長職務代理者　安藤文一

　　　　　　　　委員　二宮朗子　委員　杉本葉子　委員　石川純一

　　　　　　　　（事務局関係）

　　　　　　　　教育課長　遠藤洋一　学校教育係長　宮根正行

　（2） 欠席者　なし

３　傍聴人　なし

４　協議事項

　（1）松田町立中学校の統合に係る基本方針等について

５　議題及び議事の要旨

　　開会のあいさつ

（1）議事事項

　①松田町立中学校の統合に係る基本方針等について

　　３課題について説明。内容は次のとおりである。

ⅰ）寄小学校５・６年生保護者アンケートについて

ⅱ）統合の時期について

ⅲ）通学方法について

遠藤課長：「寄小学校５・６年生保護者アンケートについて」に基づき説明。

本山町長：このアンケートの結果の説明は、いつ行うか。

遠藤課長：まず寄中学校長、松田中学校長に説明し、その後、小学校・幼稚園長に報告し、7月に保護者及び町民の方々に説明会を開催する。次に、7月５日に開催される議会全員協議会で説明したい。

本山町長：教育委員会での意見統一もあり、平成30年度をもって統合するということでよろしいか。

委員：全員了承

本山町長：前回の議論の中で校章と校旗は、スケジュールの許す中で議論していく方向で変わりないか。通学方法について事務局から説明を。

宮根係長：「通学方法について」に基づき説明。

本山町長：マイクロバスを使った場合だが、部活動をしている子は何人か。

宮根係長：現在4人である。

本山町長：例えば、部活で松田中学校へ向かう生徒がマイクロ1台で済むなら、帰りはジャンボタクシーによる運行委託による混合パターンで良い場合も考えられる。様々なパターンの資料を作成されたい。また、路線バス、マイクロバスの利用におけるメリット、デメリットを調べておくこと。

本山町長：定期券をもっていれば路線バスで自分の都合で帰れるが、ジャンボタクシーやマイクロバスだと決められた時間でしか運転しない。返って保護者負担がかかる。

二宮委員：塾は親の責任で通わせるものと思う。

安藤委員：バス停を基準に送迎すべきと考える必要がある。

本山町長：路線バスを使うにしても、マイクロバスを走らせるにしてもルール化は必要である。夏休みになると送迎バスの対応ができなくなる。定期券を持っていればいいが、土日はマイクロバスを運行しないので部活対応は厳しい。通学方法としてマイクロバスを出す方向で考えるが、準備委員会においてバスの議論はどうなっているか。

遠藤課長：バスを購入するなど、予算が伴うものは、委員のみでは決められないとの意見がある。

宮根係長：準備委員会で検討する課題は、一つ目はマイクロバスの購入あるいは、運行委託による方法、２つ目は運行経路と発車時間、どこまで運行するかである。

遠藤課長：急ぐ必要があるのは、制服、閉校式、記念誌などであり、時間がかかることや、地域住民にお願いしなければならないことである。

本山町長：自由がきくのは路線バス、生徒にとっても自由が利く。町全体で考えればマイクロバス購入も考えられる。準備委員会の委員にはもう少しその話は待ってもらうべきと考える。

安藤委員：萱沼の対象者は幼児であるので、兄の話であるが、虫沢・田代はバスが必要と考える。

本山町長：準備委員会での協議は、基本的に枝線を含めた中で検討していただきたい。

安藤委員：先ほどの５・６年生の意向調査の意見にもあったが、スクールバスを町で購入してほしいとの意見が表面的には多くなると思う。

本山町長：スクールバスは土日利用できない、朝夕の時間、発車時刻に間に合わないと利用できない。路線バスの方が便利かと思うところもあるので、この会議で決めていいのかと考える。

本山町長：今年度、路線バスを利用している生徒にスクールバスとの比較を聞いてみてはどうか。

遠藤課長：中学校に就学する生徒の様子を見ると、迎えに来ているのを多く見ることがある。

安藤委員：卒業生の子も在校生もみんな近所でお互いに同級生であり送迎行っているので慣れたものである。部活があれば朝送っていくこともあるので、色々パターンもありまとめるのは難しい。

本山町長：マイクロバスを購入するのは簡単だが、理由が必要である。子どもの部分、保護者の経済的な部分等を検討して決めていく必要がある。

吉田教育長：通学方法は別に検討したい。統合の時期と、学校名はここで決めたい。

本山町長：統合の時期は決まった。学校名も決まった。８月の議会全員協議会でスクールバスはこのように検討中であると説明して、統合検討部会でこのことを伝え間に合うのか。マイクロバスについては、来年度買いたいという考えもある。もう一つに閉校式の予算は９月ごろに決まればいいのか。

遠藤課長：制服は作ることで決まり、閉校式、記念誌についてできるだけ早く決めてほしいとの要望がある。記念誌の予算で作り方が変わるとのこと。

本山町長：予算の裏付けがないのに決めようがない。

宮根係長：資料としては本日提供していませんが、手持ちの資料として記念誌の予算ですが、近隣町と同じ仕様で印刷業者より見積りを徴集した。100ページ、フルカラーで500冊買って単価3,487円、総額で1,743,500円です。1,000冊だと単価1,931円、総額1,931,000円である。

吉田教育長：松田中学校は記念誌を作る予定はない。

本山町長：同じ閉校をするのに寄中学校だけとはいかないと思われる。

遠藤課長：近隣町では、統合したところは記念誌を作成したが、新設となった中学校は作らなかった。

安藤委員：松田中は記念誌作らないのですね。

本山町長：作らない訳にはいかないと思う。両校閉校したことにならない。

吉田教育長：1冊に収めたのではなく、各校別々に行っている。

石川委員：学校にまかせて、予算だけ町から出ただけと思われる。

安藤委員：例えば50万円出しますからその範囲でできるものを作ってくださいというやり方もある。

本山町長：予算を付けるなら両校に着ける必要がある。それをどうするかは学校任せになるが。また、記念誌だけの問題でなく、閉校式も含めた予算はいくらか。

遠藤課長：閉校式は統合した中学校260万、もう一校が280万円である。

安藤委員：記念誌も含めた予算ではないか。

遠藤課長：統合した中学校の予算は、記念誌、記念品購入費、会場設営費、消耗品、郵送料などであり、懇親会は参加者負担金が1,000円であった。

本山町長：閉校式の予算は必要なものは出す必要がある、1回きりのものであるから。しっかり確認しておいていただきたい。

吉田教育長：新設中学校の予算も調べる必要がある。

本山町長：バスや閉校式など予算のかかる課題については、９月議会でしっかり説明できるよう準備すること。

宮根係長：「今後のスケジュール案について」に基づき説明。

本山町長：準備委員会の委員に伝える内容としては、バスの導入、校章・校章の検討を続ける。閉校式は２校予算を付けるが金額は未定、進められるものは進めてほしい。

遠藤課長：校旗の費用についてですが、費用は200万円弱、注文から発注は３、４か月かかる。松田中学校ではＰＴＡの協力を得てバザーにて制服、柔道着などを購入できる取り組みを進めてもらうよう依頼しています。

本山町長：今回の校旗はもともとあるものを作成したが、新しい校旗を作った場合いくらかかるか、校旗の寸法はどうか。調べておくこと。校旗、バザーの件はいかがですか。寄地区の子どもの制服はどうしているのか、新しく買ったのか、教育配慮された子はどうしたか聞いておくこと。

杉本委員：制服は一緒でジャージが違うだけ。

吉田教育長：制服など改めて購入させることはないと考えます。

本山町長：今年の６年生の分の制服だけを考えればいい。また、購入に町が補助金を出してほしいとの話が出ることもある。卒業した子どもも制服を持っていることも考えられるので広報でお知らせし、松田中PTA会長とも相談すること。とにかく寄地区の子どもの分は確保する必要がある。

　その他何かございますか。その他ご意見がなければ、制服やこれまでの議題の件については、了承することでよろしいか。

委員：全員了承